

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	「HR 陽性/HER2 陰性乳癌における 21 遺伝子再発スコアアッセイ (Oncotype DX) が治療意思決定に与える影響：単施設後方視的研究」
所属科*	乳腺外科
研究責任者*	橘高信義
研究実施期間	開始 西暦 2026 年 4 月 1 日 ~ 終了 西暦 2027 年 7 月 31 日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	乳癌術後 Oncotype DX 検査症例 (41 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2023 年 11 月 1 日 ~ 至 西暦 2026 年 3 月 31 日
研究概要*	本研究は、HR 陽性/HER2 陰性乳癌において 21 遺伝子再発スコア (Oncotype DX) が術後補助療法の選択に与える影響を検討した単施設後方視的研究である。当院で本検査を施行した症例を対象に、検査前後での治療方針の変化および化学療法施行率を解析した。その結果、検査導入により化学療法の回避が一定数で認められ、特に低リスク症例では内分泌療法単独が多く選択された。一方で、RS≤25 の低リスク群においても若年患者では化学療法が選択される傾向がみられ、年齢などの臨床因子が意思決定に影響を及ぼしている可能性が示唆された。以上より、本検査は治療選択を支援する有用なツールであるが、最終的な判断には臨床情報を含めた統合的評価が重要である。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表は乳腺外科で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 乳腺外科 橘高信義 (研究責任者) TEL:072(252)3561

* 記入必須項目